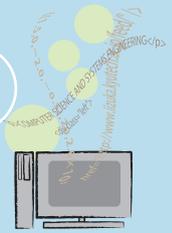


主体性等評価と アクティブラーニングの 目指すもの

定員 20名



日時 **6月28日** 金
14:00~17:00

場所 **九州工業大学
サテライト福岡天神
in 天神イムズ 11F**

スケジュール

14:00~14:05	開	会
14:05~15:25	講演・	実習
15:25~15:35	休	憩
15:35~16:20	講	演
16:20~16:30	休	憩
16:30~17:00	デ	ィスカッション

目的

これまでの教育方法が間違っていたのかといえばそうではありません。過去においては有効な方法でした。時代が変わり、この変化の激しい時代の中では、従来から身に付けなければいけない学力としての知識・スキルに加え、あらたに必要なとなった学力（主体的、能動的、協働的で深い学びの態度）が加わりました。

そのためにはどういった学び方（アクティブラーニング）があるのか、また、その評価方法について、高大が連携した研修会を開催し、改革の目指す先にあるものを共有したいと考えています。

内容

本研修会では、「協働的な学び」として、グループワークを体験してもらいます。その体験をとおして評価されるものはなにか、また、高校時代の活動をどのように主体性等評価として繋げていくかについて、具体的な事例を挙げて紹介し、現在の高校、大学での教育のあるべき姿を模索していきます。

講演・実習

14:05~15:25

協働的な学びの評価とは

講師：安永 卓生 教授（副学長（入試・広報担当）／物理情報工学研究系）

協働的な学びの意義を共に共有した上で、九州工業大学のAO入試で実施するグループワークを体験していただきます。具体的なグループワークをとおして、合意形成を行い、結論を出していく過程を追ってもらいます。また、その他に、グループワークで利用する手法のいくつかを紹介します。

講演

15:35~16:20

主体性等評価にどう向き合うか

講師：西郡 大 教授（佐賀大学・学長補佐、アドミッションセンター長）

学力の3要素の1つである「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を入試において評価することは決して簡単ではありません。しかし、高校と大学が建設的に議論すべきことの1つでもあります。本講演では、主体性等の評価を捉えるための視点と評価の事例を紹介するとともに、高大接続改革の中で高校と大学が取り組むべきことについて考えます。

ディスカッション

16:30~17:00

主体性等評価の在り方

進行：安永 卓生 教授（副学長（入試・広報担当）／物理情報工学研究系）

パネリスト：西郡 大 教授（佐賀大学・学長補佐、アドミッションセンター長）

これまでの講演内容を踏まえた上で、主体性等評価の在り方、公正性とはなにかなどに関して議論を交わします。

●申込締切／令和元年 6月24日（月）17:00（なお、定員20名になり次第お申し込みを締め切らせていただきます。）

■企画・お問い合わせ 九州工業大学 高大接続・教育連携機構 TEL093-884-3218

■お申し込み 裏面の申込用紙に該当事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。FAX093-884-3060



高校教員対象研修会

「主体性等評価とアクティブラーニングの目指すもの」

申込用紙

九州工業大学 高大接続・教育連携機構

受付FAX番号 **093-884-3060**

申込締切／令和元年6月24日（月）17:00

下記、該当事項を記入の上、上記FAXにてお申し込みください。

高校名
連絡先電話番号
FAX

参加教員情報

(ふりがな)

1

氏名

(ふりがな)

2

氏名

(ふりがな)

3

氏名

(ふりがな)

4

氏名

(ふりがな)

5

氏名

■お問い合わせ 九州工業大学 高大接続・教育連携機構 TEL093-884-3218



国立大学法人 九州工業大学